



お値打ち価格で 介護・福祉用品をご提供  
オアシスナビ × ハートページ 介護用品通販サイト

施設のことはお任せ！  
ハートページ相談センター  
0120-964-047

- TOP
- 老人ホーム
- デイサービス
- 訪問介護
- 居宅介護
- 介護用品通販
- 介護の知恵袋
- クチコミ

オアシスナビトップ > 介護の知恵袋 > 特集&介護ニュース > 認知症カフェを徹底取材！ > もの盗られ妄想～Dカフェ懇話会（お医者さんを囲んで）取材3

目的別に記事を探す

- 介護を始める前に
- 家で介護する
- 施設で介護する
- お金・介護保険
- 介護用品・リフォーム
- 介護食・レシピ
- 高齢者の病気・ケガ
- 介護Q&A・専門用語集
- 介護ニュース&特集

- **特集 介護維新最前線へ！**
  - ▶ 「80歳の体」体験レポート
  - ▶ 「遠距離介護」という選択肢
  - ▶ 期待が集まる「介護ロボット」
  - ▶ 介護者が集う「介護カフェ」
  - ▶ 音楽で介護を変える
  - ▶ 在宅医療と介護の連携
  - ▶ 家庭内の不慮の事故
  - ▶ 新しい技術「古武術介護」
  - ▶ 介護保険法改正について
  - ▶ 介護のイベントを取材！
  - ▶ 「老後のお金」と「財産管理」
  - ▶ 介護タクシー活用術
  - ▶ 介護のアニマルセラピーの今
  - ▶ 2015年 介護保険改正
  - ▶ **認知症カフェを徹底取材！**
- **特集 注目映画インタビュー**
  - ▶ 映画『わが母の記』特別取材
  - ▶ 映画『折り梅』 特別取材
  - ▶ 映画『東京家族』特別取材
  - ▶ 映画『はじまりのみち』取材
  - ▶ 映画『くじけないで』特別取材
- **特集 最新介護トピックス**

## ● もの盗られ妄想～Dカフェ懇話会（お医者さんを囲んで）取材3 2014年10月31日

Dカフェ・ラミヨで開催される、医療・介護の専門家を囲む会。ゲストによるトークの後は、皆が気になる質問を投げかけ合うフリートークの始まりです。

家族、医師、看護師、ケアマネジャー、ヘルパー…さまざまな人たちが、一つのテーブルを囲んで自由に懇談を楽しみます。今回は、その一部をお伝えします。

### 「もの盗られ妄想」はなぜ起こる？



ご家族を介護中の方が問いかけます。

「もの盗られ妄想って、どう対処したらいいんでしょう？」

「もの盗られ妄想」とは、自分のお金や物などを誰かに盗まれた、と思ってしまう。認知症になると記憶が曖昧になるため、自分が物をしまった場所をすぐ忘れてしまいます。忘れているから見つけれないのですが、その原因を「他の人が盗んだからだ」と思ってしまう。よくある認知症の周辺症状の一つなので、参加者もそれぞれの意見を持っています。

「もの盗られ妄想って、認知症の初期段階に起こることが多いですね。」

「そうそう。家族がまだ認知症の知識が浅くて、対応に混乱している時期に起こる。だから余計に厄介なのよね。」

「しかも他人ではなく、家族など身近な人に対して疑いをかける。」

「言われた方は悲しいし、腹も立つ。『こんなにお世話してあげてるのにヒドイ！』って。これがきっかけになって、家族関係がこじれてしまうケースは少なくないですね。」

うーん、と考え込む参加者。

「そもそも、なぜこういう症状が生まれるんでしょうか？」

「若い時、頭の中にいつも、お金への不安があったからじゃないかな。」

「もの盗られ妄想は男性より女性の方が多い気がしない？家計を実際にやりくりしているのが女性だったり、所有物に囲まれた家の中で過ごしていたことも影響しているんじゃないかな。」

「認知症の初期段階の人は、自分の症状をある程度理解していて不安感や喪失感が常に心の中にある。そういう喪失感から来る、不安やあせりが原因だと思いますね。」

私はこう思う、いや私は、とさまざまな意見が出てきます。どれも、なるほど～と参考になる内容です。

### 「もの盗られ妄想」の対処法





「もの盗られ妄想は介護者にとって、すごくストレスになりますよね。」

「でも、とらえ方を変えると、ラクになると思います。盗んだなんて疑いをかけられたら、誰でもショックだし腹が立つ。でも、認知症という病気だと心に言い聞かせれば、少しは割り切れる。」

「『なぜかいつも私が疑われて…』という方もいますが、一番身近にいる人が疑われることが多いんですよね。『いつも私ばかり、盗んだって言われて…』と聞くと、この家ではこの人が一番お世話しているんだ、って私は思いますね。」

「認知症の症状としては一般的なものですよね。多かれ少なかれどこの家庭でもあるし、恥ずかしいことじゃない。そう思えばさほどストレスにならないのでは？」

とはいえ、なるべくならもめたくはないもの。

「何かいい対策はありますか？」

「お金については、置き場所を決めて、どこにあるか繰り返し伝えたり、ノートに書いたり…どこにあるかが常にわかるようにした方がいいですね。」

「でも、認知症の本人が『盗まれないように絶対見つからない場所に隠しておこう…』と思ってどこかに隠してしまうと、お手上げ。本人も家族も見つけれません。」

「だから、なるべく現金は手元におかない方が良くもかもしれません」

なるほど。みなさん、さまざまな工夫をしているそうです。

「『もの盗られ妄想』の変形で、『嫉妬妄想』というのがありますよね。」

「そうね。特に男性に多い気がします。誰かに奥さんを盗られるという『嫉妬妄想』。」

「旦那さんに実際浮気した過去があった場合は、女性にも嫉妬妄想が強くなりますね。」

「『誰かに大切なものを盗られる』ことへの不安、という意味では…もの盗られ妄想と根っこは同じだね。」

「嫉妬妄想があるときは、ヘルパーも医師もすべて同性にしたりという工夫もできますよね。完全には解決できないけれど。」

「物盗られ妄想も、嫉妬妄想も認知症の初期症状。症状が進むと、自然になくなります。永遠に続くわけではない、と思えば少しは気がラクよね。」

…1つのテーマでも、こんな風にどんどん話がひろがり、さまざまな意見が聞けるのがDカフェの良いところ。

認知症の症状は100人いれば100通り。対処の方法も、誰にでも通用するたった1つの方法、というものはありません。だからこそ、いろんな人と話し、いろんな話を聞ける場は家族にも、専門家にも役立つといえそうです。

今回は、Dカフェに実際に参加されているみなさんの様子を、たくさんの写真とともにお伝えします。

\* Dカフェnet主催のイベント【めぐろ認知症ぷらすミーティング】が11月5日（水）に行われます。新里和弘さんの講演のほか、保健師やケアマネの相談コーナー、介護サービス情報コーナー、ハンドケアなどの体験コーナーも。介護経験者と交流できる認知症カフェもあります。

詳しくはこちら → [Dカフェまちづくりネットワーク 公式サイト](#)

**連載マンガ** 毎週火曜更新

### 孫娘のガチンコ介護

W認知症・じーちゃんばーちゃんと暮らす、ゆず子の介護奮闘記!

10月28日

**連載マンガ43 ★ 2分おきの、鬼電攻撃**

[→続きはこちら](#)

**人気記事ランキング**  
介護ニュース&特集

- 最新 介護ニュース  
**1位 ケアマネ試験 申込者2割増の19万人**  
2014年10月29日
- 最新 介護ニュース  
**2位 介護報酬「6%減」に**  
2014年10月24日
- 認知症カフェを徹底取材!  
**3位 ウソも方便~Dカフェ懇話会(お医者さんを困で)取材2**  
2014年10月24日
- 最新 介護ニュース  
**4位 介護報酬改定で基本的な視点 厚労省**  
2014年10月23日
- 2015年 介護保険改正  
**5位 介護保険改正で気になるポイント(4):「訪問介護」「通所介護」に関する変更【後編】**  
2014年08月18日
- 最新 介護ニュース  
**6位 「老健を地域包括ケアの中心に」全老健施設大会**  
2014年10月27日
- 最新 介護ニュース  
**7位 社会福祉法人 地域公益活動 義務化**  
2014年10月30日
- 最新 介護ニュース  
**8位 人材確保は「階層別」で介護福祉士10年後5割に**  
2014年10月21日